

# 5年生「スーパーグローバル」IDEC 連携プログラム

## 第1回実施報告

日時：2017年6月3日（土）13:00-16:00

場所：広島大学附属福山中・高等学校内情報教育棟 マルチメディアホール

参加者：生徒20名，留学生4名，大学教員2名，本校教員4名

### 実施内容

SGHの一つの柱である「スーパーグローバルプログラム」は、異文化を背景とする人たちと英語で話をしたり、議論したり、合意形成したりするプログラムです。このプログラムの一つとして、広島大学大学院国際協力研究科（International Development and Cooperation: IDEC）の留学生とともに「環境」「平和と教育」の2つのテーマについて、高校2年生がグループで議論する「IDEC 連携プログラム」を全5回計画しました。発展途上国を取り巻く社会的課題について学び、英語で議論する機会になればと思っています。今回は、ラオス、インドネシア、ガーナ、リベリア出身の、4名の留学生が参加しました。

第1部では、最初に広島大学の清水欽也先生から本プログラムの説明をしていただき、その中でも特に、「何が問題点とされているのか」を考えながら発表を聴く姿勢が大切であるということ強調して教えていただきました。次に4名の留学生が、自分の研究テーマに関連して、英語で課題を発表しました。生徒たちは、配布されている資料に目を通しながら、時折辞書で語句を調べたりして、英語による発表を真剣に聞いていました。発表後は清水先生が留学生に対して質疑を行い、質疑応答の観点や方法を、生徒に示していただきました。



第2部では、最初に広島大学の中谷礼美先生が、「発想力」「つなげる力」「合意形成力」の育成を意図する Web mapping の作成について、全体に指導をしてくださいました。その後 Web mapping を実際に使って、「留学生の研究課題の原因は何か」という問いについて、グループワークを行いました。



グループワークでは最初に、発表をしていただいた留学生に、自身の研究課題である社会的な問題を Web mapping の中心に書いていただきました。次に、生徒が自由に、問題の原因と考えられるアイデアを書きました。生徒たちは様々な原因を考え出し、その中には留学生が意図していない原因もあったようで、活発な議論がなされていました。その後、原因を更に追究し、「原因の原因」を考えたり、各人が出したアイデアを、ディスカッションを通して合意形成を図りながら、一つの原因としてグルーピングしたり、新たな原因として展開させていきました。



今回の話し合いでは、次のような手順で行いました。

- ① 「Health Insurance」「Livelihoods, Vulnerabilities and Welfare of Households」「Ecologic Damage」「Agriculture in Liberia」の4つの中から1つテーマを選ぶ。
- ② そのテーマで指摘されている問題を、留学生が Web mapping の中心に書く。
- ③ その問題の原因を、資料からの情報と自分の考えを合わせて書く。
- ④ さらにその原因の原因を考える。
- ⑤ 関連する原因をグルーピングする。



第3部の発表会では、グループで作成した Web mapping を活用して問題の主たる原因と考えられるものについて発表を行いました。4つのグループそれぞれが違うテーマに対してディスカッションをしていたので、生徒たちは他の班の発表内容に対して興味深く聞いていました。時間の関係で、発表準備は決して万全ではありませんでしたが、英語を使って発展途上国を取り巻く社会的課題についてのグループの成果を説明することができていました。

参加した生徒にインタビューを行いました。その回答をいくつか紹介します。

#### 【参加者の声】

- 留学生の方とこんなに深く議論したのははじめての経験でした。最初の講演の内容と英語を速いスピードで理解することが難しかったけれど、その後グループに分かれたときに、直接質問すると、かみくだいて説明して下さって質問が自分からできたというのも自信になり、参加を決めて良かったと思いました。ウェブマッピングでは、自分には発想力が欠けていると思っていたけれど、意外と出すことができ、新しい発見です。次回も楽しみです。
- 最初正直英語が分かるか不安だったけど、プレゼンテーション聞くとき全く分からなかったことはなく安心した。わからない単語を聞いたなら分かりやすく教えてくれてよかった。みんなでウェブマップをつくる時、英語で質問したくさんアイデアができて良かった。合意形成について学び、相手へ質問・反応をしその上で自分の意見とどうかということを考えることをもっとしようと思う。違う、一緒だけで終わらせない。次回にもっと積極的に質問する。
- 今まで外国の方とこんなに近くでお話できる機会がなかったので、とても良い経験になりました。自分で調べるのと実際にその国の人の話を聞くのは全然違い、また、1つの問題は、他の小さな問題が集まって大きな問題に発展することがわかりました。次回はもっと積極的に問題を見つけられるように原因同士の関係を考えて、様々な側面から1つの事を見ることができるようになりたいです。
- どの原因がどのように結び付いているのか考えるのが難しかった。また、学んだことを英語にしてみんなに伝えるためにはなじみのある簡単な言葉を探すことが必要だということが学べた。分からない単語はとにかく聞いて知識にしていくことの大切さも学べた。

